



山陰近畿自動車道「岩美道路」



40年のあゆみ

公益財団法人鳥取県建設技術センター

目次

- 設立40周年に寄せて
- グラフで見る40年
- 建設技術センター10年ごとのあゆみ
- 設立趣意書
- 概要
- 歴代理事長・代表理事
- 事業案内
 - ・技術支援事業
 - ・材料試験事業
 - ・建設発生土受入事業
 - ・研修事業
 - ・建設産業の魅力発信
- 施設の写真



設立40周年に寄せて

公益財団法人鳥取県建設技術センター
代表理事 河田英明

公益財団法人鳥取県建設技術センターは、令和4年で設立40周年を迎えることが出来ました。これもひとえに関係各位の皆様からのご支援・ご協力の賜と心より感謝申し上げます。

昭和57年4月、公共工事における建設材料確保に向けた公的な試験機関として、さらに建設技術の向上を目指した研修の場として、県及び市町村、建設業協会が一体となって設立したものであります。

その後、平成14年に財団法人鳥取県建設資源利用センターから建設発生土受入事業を引き継ぎ、平成24年4月に公益財団法人に移行しました。

当センターでは、建設技術者の技術力向上のための研修事業、公共事業の建設資材の品質確保のための材料試験事業、県や市町村など発注者等への積算・現場技術補助や工事監督・工事検査補助などの技術支援事業、公共工事の円滑な執行を図り社会資本整備の推進に寄与する建設発生土受入事業を行っております。

更に、近年、少子高齢化が進み、人材不足が深刻化しており、早急な対策が急がれており、担い手確保や建設DXの積極的な導入による業務効率化など、技術者の少ない市町村へのインフラ維持管理の技術支援にも取り組んでおります。

これらの事業により、良質な社会資本の整備に寄与し、広く県民の皆様の福祉の増進を図ることにも貢献しているものと自負しております。これからも県や市町村の建設行政部門や建設業界等と密接な連携を図りながら各事業に取り組んで参ります。

今後とも、社会基盤の整備、生活環境や自然環境の保全と創造の一翼を担う建設産業は、次世代の良質な社会基盤の蓄積にとって重要であり、当センターの果たす役割はますます拡大するものと考えています。より一層、利用者の皆様にご信頼され、広く社会に貢献できる建設技術センターを目指してまいります。

令和5年3月

公益財団法人鳥取県建設技術センター
代表理事 河田英明

グラフで見る40年

1982～2021年度(昭和57～令和3年度)

14
億円

12
億円

10
億円

8
億円

6
億円

4
億円

2
億円

0

14
億円

12
億円

10
億円

8
億円

6
億円

4
億円

2
億円

0



2010年(H22)
鳥取自動車道全線開通



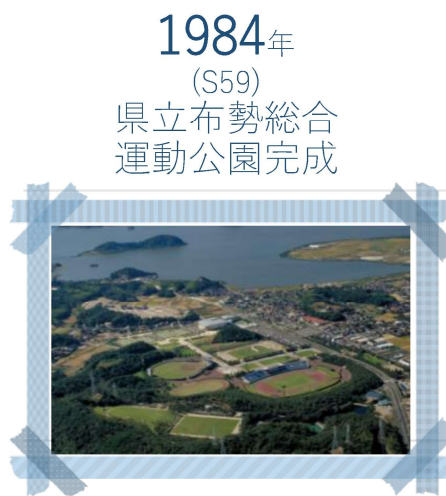
2016年(H28)
鳥取県中部地震



2002年(H14)
建設発生土事業引継



2013年(H25)
橋梁補修業務開始



1984年
(S59)
県立布勢総合
運動公園完成



1997年
(H9)
山陰・夢みなと
博覧会開催



2000年
(H12)
鳥取県西部地震



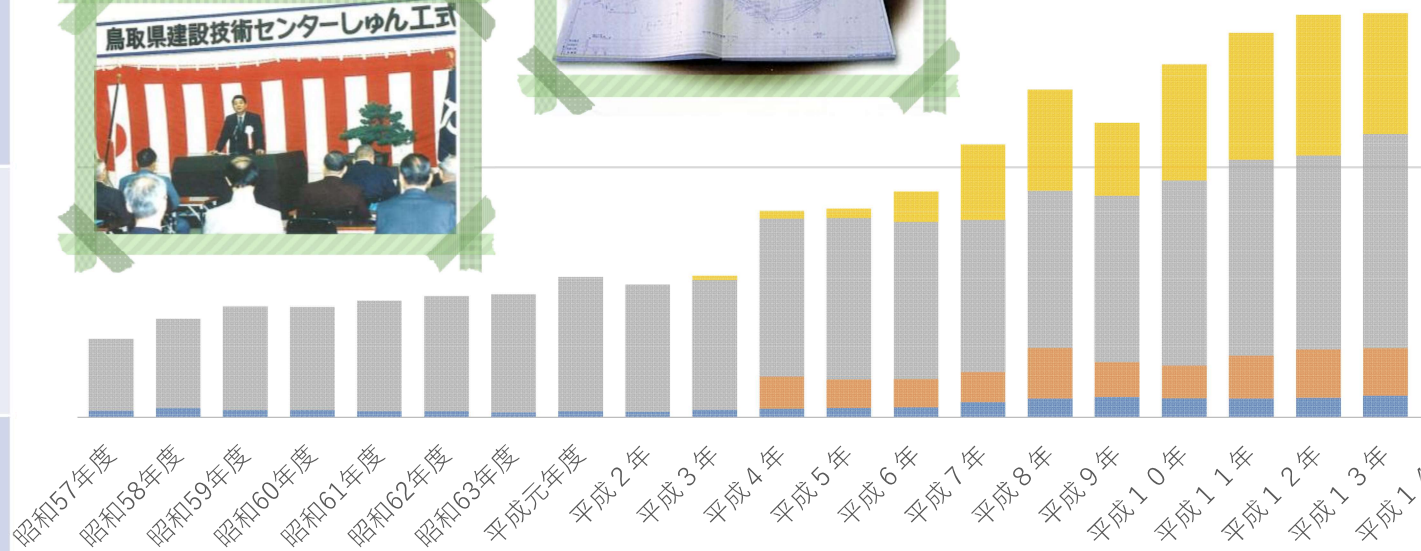
1996年
(H8)
情報プラザ
新設



1991年
(H3)
道路台帳修正
委託業務開始



1982年
(S57)
設立



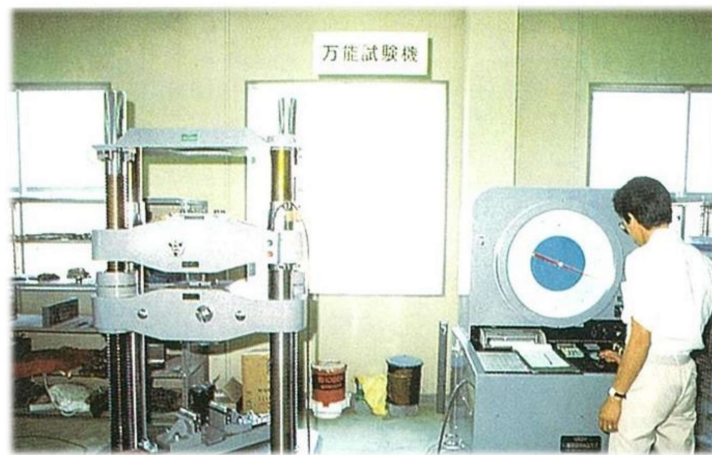
■ 研修事業 ■ 図書頒布事業 ■ 材料試験事業 ■ 技術支援事業 ■ 建設発生土受入事業 ■ その他

1982～1991年度（昭和57～平成3年度）

時期	主な動き
昭和57年4月 (1982)	<ul style="list-style-type: none"> 財団法人鳥取県建設技術センター設立許可を受ける 設立場所 鳥取県倉吉市新田576番地 試験検査事業、研修事業を実施
昭和62年度 (1987)	<ul style="list-style-type: none"> コンクリート構造物のアルカリ骨材反応・海岸構造物の塩分浸透状況の調査研究実施
平成3年度 (1991)	<ul style="list-style-type: none"> 道路台帳修正業務の開始 土木工事標準積算基準書及び土木工事施工管理ハンドブック刊行 完全週休二日制の実施



設立当時のセンター全景（昭和57年）



設立当初の材料試験（昭和57年）



設立当初の研修業務（昭和57年）

1992～2001年度（平成4～平成13年度）

時期	主な動き
平成4年9月 (1992)	<ul style="list-style-type: none"> 創立10周年 10周年記念式典開催
平成6年度 (1994)	<ul style="list-style-type: none"> 町村公共下水道事業の技術支援に着手、技術職員を日本下水道事業団へ派遣
平成8年2月 (1996)	<ul style="list-style-type: none"> 建設情報プラザオープン記念式典 建設業関係者の総合的建設技術の支援、技術力の向上を図り、建設技術情報の収集、提供、図書、文献、映像資料の提供を行う。



創立10周年記念式典（平成4年9月）



建設情報プラザオープン（平成8年2月）



センター全景・試験棟増築（平成13年8月）

2002～2011年度（平成14～平成23年度）

時期	主な動き	建設発生土事業所
平成14年度 (2002)	<ul style="list-style-type: none"> 建設発生土受入事業の開始 （（財）鳥取県建設資源利用センターから引継） 市町村管理に移行した漁港整備工事の積算業務を受託 	<ul style="list-style-type: none"> 五月田
平成15年度 (2003)	<ul style="list-style-type: none"> ISO9001：2000 取得 	<ul style="list-style-type: none"> 小倉 下石見 波多
平成16年度 (2004)	<ul style="list-style-type: none"> 第1回建設技術センターまつり開催 	<ul style="list-style-type: none"> 高江 高千穂
平成17年度 (2005)	<ul style="list-style-type: none"> 繊維補強覆工コンクリートの曲げ靱性試験の開始 格付けにかかる加点研修の開始 	<ul style="list-style-type: none"> 三谷
平成18年度 (2006)	<ul style="list-style-type: none"> 公共工事発注者支援機関認定 （国土交通省中国地方整備局） 	<ul style="list-style-type: none"> 小倉第二 向山
平成20年度 (2008)	<ul style="list-style-type: none"> コンクリート構造物の補修技術研修・技術相談を開始 	<ul style="list-style-type: none"> 第2 三代寺
平成21年度 (2009)	<ul style="list-style-type: none"> 総務課と技術研修課を合併し総務研修課とする 	<ul style="list-style-type: none"> 大成
平成22年度 (2010)	<ul style="list-style-type: none"> 試験事業者登録制度ISO/IEC 17025登録 フェロニッケルスラグ活用促進技術開発業務受託 新分野進出塾及び鳥取式作業道開設士認定事業の受託 	
平成23年度 (2011)	<ul style="list-style-type: none"> 佐蛇川堆積土石有効利用調査研究業務の受託 	<ul style="list-style-type: none"> 帽子取



（財）鳥取県建設資源利用センターから建設発生土受入事業を引継（平成14年度）



建設技術センターまつりの開催（平成16年～）

2012～2021年度（平成24～令和3年度）

時期	主な動き	建設発生土事業所
平成24年度 (2012)	<ul style="list-style-type: none"> 公益財団法人鳥取県建設技術センター移行に伴う設立登記 ひび割れ対策マニュアル作成業務の受託 	
平成25年度 (2013)	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁補修工事の積算、現場技術及びアドバイス業務開始 フェロニッケルスラグ骨材を用いたコンクリート実用化検査業務の受託 	<ul style="list-style-type: none"> 第2 三谷
平成26年度 (2014)	<ul style="list-style-type: none"> 賃金水準等詳細調査業務の開始 	<ul style="list-style-type: none"> 岩美第1
平成27年度 (2015)	<ul style="list-style-type: none"> 「とっとりイノベーションファシリティネットワークに関する協定」締結 建設工事下請け取引等点検業務の開始 ホームページ及び研修システムの更新 	
平成28年度 (2016)	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校出前授業「とっとり建設産業の魅力発信講座」の開始 鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会設立 （建設技術センターは事務局） 「災害時等における建設工事に係る材料試験業務の相互支援に関する協定」締結 	<ul style="list-style-type: none"> 岩美第二
平成29年度 (2017)	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取県中部地震に係る災害復旧工事の現場技術業務支援 中学生の職場体験学習の受入開始 	
平成30年度 (2018)	<ul style="list-style-type: none"> 岡山県建設技術センターへ豪雨災害復旧支援（職員派遣1名） 平成30年7月豪雨及び平成30年台風24号による町村災害復旧支援 	
令和元年度 (2019)	<ul style="list-style-type: none"> とっとり建設☆女星ネットワーク設立 （建設技術センターは事務局） 	<ul style="list-style-type: none"> 帽子取第2
令和2年度 (2020)	<ul style="list-style-type: none"> 東北大学との共同研究により橋梁マネジメントシステム開発の開始 オンライン研修の開始（新型コロナウイルス感染症予防対策） 	<ul style="list-style-type: none"> 小原
令和3年度 (2021)	<ul style="list-style-type: none"> 「令和3年度湯梨浜町道路施設メンテナンス支援業務に関する協定」の締結 7月豪雨災害による災害復旧支援 	<ul style="list-style-type: none"> 小町



ドローンを使った技術支援の開始（平成28年度）



小中学校出前授業「とっとり建設産業の魅力発信講座」の開始（平成28年度）

○設立趣意書

本県における地域総合開発の推進と住民の生活水準の向上等により、産業基盤及び生活環境の整備拡充の社会的要請は年々増大の一途をたどりつつあり、これに伴い、諸施設の建設事業は急激に増加し、その技術は急速な進歩を遂げております。

しかしながら、建設事業を施行するに当たって工事用資材の検査等その品質を確保するための試験施設については、民間においても徐々に整備されてきているものの、まだ需要に応じきれるところまでは達していない現状にあります。

また、建設事業を執行するために必要な優秀な技術職員の確保については、県及び建設業関係者とも、それぞれ努力しているところではありますが、種々の困難な問題もあり、十分に確保できているとは言い難いのが現状であります。

このような状況にかんがみ、建設工事に使用する資材の試験及び調査研究並びに建設技術者その他の建設事業に従事する者の研修を行い、建設工事用資材の適正な品質の確保と建設事業に関する技術の向上を図るため、財団法人鳥取県建設技術センターを設立し、もって公共事業の円滑な執行と建設業の発達に寄与しようとするものであります。

(昭和57年4月1日 財団法人鳥取県建設技術センター)

○概要

- ・名称 公益財団法人鳥取県建設技術センター
- ・設立年月日 昭和57年4月1日
- ・基本財産

8,900千円	
(内訳) 鳥取県	1,000千円
市町村	500千円
一般社団法人鳥取県建設業協会	500千円
公益財団法人鳥取県建設技術センター	6,900千円
- ・所在地 〒682-0018 鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地
- ・事業
 - 研修事業
 - 図書頒布事業
 - 試験検査事業
 - 技術支援事業
 - 建設発生土受入事業

○歴代理事長・代表理事

昭和	57	1982	平林 鴻三	平成	14	2002	平井 伸治
	58	1983	西尾 邑次		15	2003	
	59	1984			16	2004	
	60	1985			17	2005	奥田 啓一
	61	1986			18	2006	
	62	1987			19	2007	
	63	1988			20	2008	
平成	1	1989		21	2009		
	2	1990		22	2010	岡本 正文	
	3	1991		23	2011		
	4	1992		24	2012		
	5	1993		25	2013		
	6	1994		26	2014		
	7	1995		27	2015	山田 和成	
	8	1996	沖 正	28	2016		
	9	1997	河本 義永	29	2017		
	10	1998		30	2018		
	11	1999		1	2019		
	12	2000	渡口 潔	2	2020		
	13	2001	前田八壽彦	3	2021		
				4	2022	河田 英明	

事業案内

技術支援

地域の守り手として、総合的な社会資本整備、維持修繕を行うため、積算・現場技術補助、工事監督・工事検査補助、橋梁補修、災害復旧の技術的なアドバイスを行うなど県・市町村の技術支援を行っています。

積算・現場技術補助業務



渡漁港内水排除施設築造工事（流入路工）
現場技術業務（境港市）

工事監督・工事検査補助業務



龍島ポンプ場建設工事現場技術監理業務
(湯梨浜町)

橋梁補修アドバイス業務



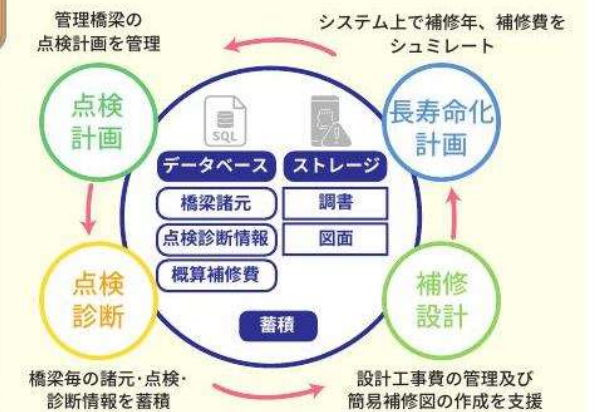
topic

- ・橋梁補修が経済的かつ効率的な業務になるようアドバイスします。
- ・詳細調査及び詳細設計を進めるうえで、必要な技術的アドバイスを市町村に対して行います。

インフラマネジメントシステムの運用

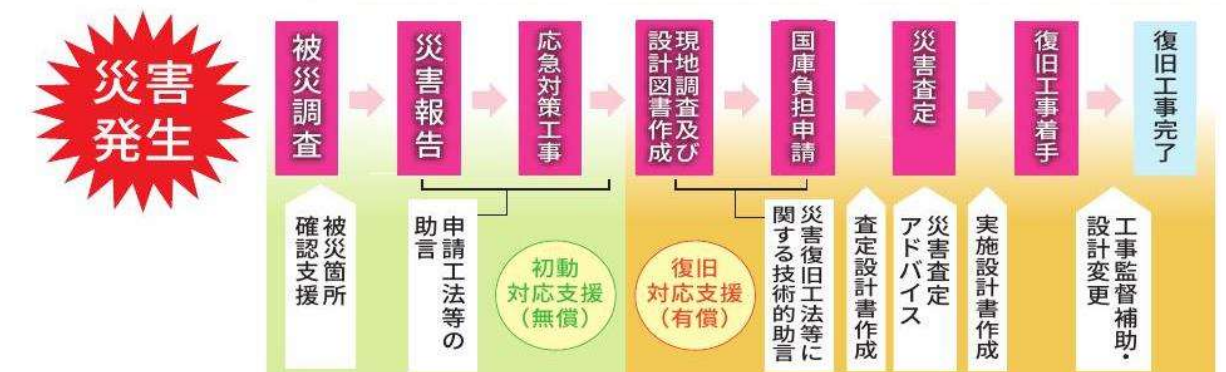
- 東北大学との共同研究により開発した「インフラマネジメントシステム」を活用し、メンテナンスサイクルの一元化・効率化を支援します。
- 点検診断・設計・工事データを時系列でデータベース化し、各種資料の散逸を防止します。
- 点検診断データ等を活用し、長寿命化計画の策定や簡易補修図の作成（直営発注）などを支援します。

インフラマネジメントシステムの概要



災害復旧支援業務

災害発生時の被災状況調査、復旧工法等のコンサルタントとの協議、査定設計書作成、実施設計書作成及び現場技術業務等の災害復旧工事に係る一連の作業を支援します。



材料試験

建設資材の品質確保を図るため、コンクリート、碎石、土、鋼材アスファルト、コンクリート用練り混ぜ水の試験を行っています。

ISO/IEC 17025 登録試験事業所

産業標準化法試験事業者登録制度（JNLA）に基づく、ISO/IEC17025（JIS Q 17025）に適合した登録試験事業所です。登録試験項目の試験成績書には、右の標章が付きます。



(100302JPは当試験所の登録番号です。)

JNLA登録試験

分類	試験項目	JIS
骨材	細骨材のふるい分け試験	A 1102
	粗骨材のふるい分け試験	
	細骨材の微粒分量試験	A 1103
	粗骨材の微粒分量試験	
	粗骨材のすりへり試験	A 1121
	細骨材の安定性試験	A 1122
コンクリート	骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法)	A 1145
	コンクリートの圧縮強度試験	A 1108
	コンクリートの曲げ強度試験	A 1106
	コアの圧縮強度試験	A 1107, 1108



路盤材のふるい分け試験(碎石を大きさ別に選別します)

建設発生土受入

公共事業の円滑な執行を図り、社会資本整備の推進に寄与するため、公共工事から発生する建設発生土の適切な処理を行っています。

建設発生土受入事業所



小町事業所
(受入土量: 90万㎡、面積: 10ha)



帽子取第2事業所
(受入土量: 45万㎡、面積: 5.9ha)



岩美第2事業所
(受入土量: 20万㎡、面積: 4.0ha)

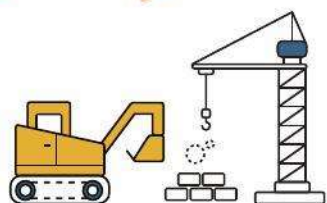


小原事業所
(受入土量: 25万㎡、面積: 7.6ha)



topic

- 建設発生土は、埋立や盛土の材料として土地造成などに利用できる再生資源です。
- 安全な建設発生土処理と用地の有効利用を推進しています。



研修

技術者の継続的かつ高度な資質の向上を図るとともに、働き方改革への対応、生産性の向上、職場環境の改善等に資するため、受講生のニーズや時代の要請に応じた研修を行っています。

■自主研修 (41 研修)

令和4年度の主な研修

区分	研修名	目的	
実践研修	若手技術者のための基礎研修	<ul style="list-style-type: none"> 測量基礎・丁張り(4日間) 河川の基礎 やさしい構造力学 新人技術者のための公共工事基礎 	<ul style="list-style-type: none"> 測量機器の操作や丁張りを繰り返し練習することで、現場に必要な測量技術を身に付けます。 新人技術者として必要な技術や知識を学ぶことで、現場でいきいきと働く技術者を目指します。
	情報系研修	ICT (デジタル化) 関連の研修	<ul style="list-style-type: none"> i-Construction ドローン計測安全管理
維持系研修	インフラ維持管理に関する研修	<ul style="list-style-type: none"> 道路構造物の維持管理 橋梁点検と補修計画 港湾・海岸施設の維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> 画像計測技術を活用した定期点検に重点を置き、効率的なインフラメンテナンスにつなげます。
災害系研修	激甚化する災害復旧研修	<ul style="list-style-type: none"> 激甚化する豪雨災害への対応 事例から学ぶ災害対応(地震編) 	<ul style="list-style-type: none"> 災害への備えや応急対策・現地踏査に必要な知識を学び、激甚化、頻発化する災害へ対応する技術者を養成します。

若手技術者のための丁張り研修



topic i-Construction 研修の新設

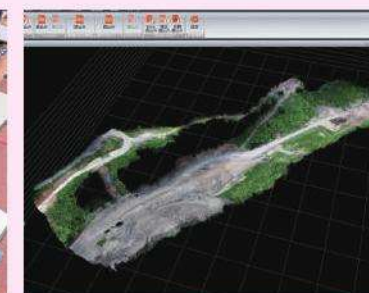
- 人口減少、少子高齢化が課題になっており、工事の自動化、ロボット活用等による生産性の向上が求められています。
- 小規模な工事が多い当県では、ICT施工の未経験者が多いことから、i-Construction研修を実施し、建設DXの推進について継続的に取り組みます。



ドローンによる空中写真測量



3次元設計データ演習



■鳥取県受託研修 (25 研修)

県土整備部技術職員の研修を県から受託し、実施しています。

研修名	構造物の維持管理	建設マネジメント・管理能力	測量実習	災害対応	橋梁設計
	仮設構造物の設計	社会的合意形成マネジメント	設計・工事監督	ICT	河川・海岸概論
	軟弱地盤対策	橋梁ストックマネジメント	工事検査	ドローン操作	砂防関係事業
	災害復旧	道路計画・構造物設計と基礎	CAD(応用編)	費用対効果	土砂災害対策

建設産業の魅力を発信しています



とっとり建設産業の魅力発信講座

- 小中学生を対象に建設産業への関心や就業意識を高めるための講座を行っています。
- ・防災学習、建設の仕事を知る（測量体験、橋の点検・高所作業車体験）
- ・ものづくり体験（ペーパーウエイト）ドローン飛行見学



ペーパーウエイト作り



ドローン飛行見学

けんせつ絵本の貸出

- 子どもたちに建設産業の役割や大切さを伝えるために、地域の図書館を通じて、けんせつ絵本の貸出を行っています。（蔵書：200冊）



けんせつ絵本コーナー（ちえの森ちづ図書館）

鳥取建設技術センター全景



プラザ棟

本館

試験棟

鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会

- 各機関と連携しながら将来を見据えた持続可能な建設産業を目指し、担い手の確保・育成のための事業を推進しています。

【主な取り組み】

分野	内容
専門高校	魅力発信 建設分野の魅力発信ガイダンス
	技術力向上 UAV測量の演習 CAD（パソコン）研修 施工管理（土木積算）研修
	資格取得 測量士補の資格取得支援 二級土木施工管理技士補資格取得支援
地域課題連携	インフラの維持管理実習+模擬体験
鳥取大学	技術力向上 リスクマネジメント講座
	魅力発信 建設分野の魅力発信講座
既就労者	技術力向上 一・二級土木施工管理・第2次検定受験対策講座
小中学生・一般	魅力発信 とっとりけんせつ魅力発信フォトコンテスト 中学生職業体験学習 SNSを活用した情報発信



Facebook QR



インフラ維持管理講座（米子工業高校）



第4回フォトコンテスト 最優秀賞作品

本館



総務研修課（1F）



材料試験課（1F）



技術支援室（2F）



建設発生土支援室（2F）

プラザ棟



図書室（1F）



多目的会議室（2F）

とっとり建設 ☆女性ネットワーク

- 建設分野に関わる女性が中心となり、誰もが働きやすい建設産業を目指して活動しています。

【R4 事業】

- ・建設現場見学会（鳥取県立美術館）
- ・「とっとり建設みりよくかるた」かるた大会
- ・けんせつ絵本のおはなし会・ワークショップ
- ・広報誌「きら☆ほし」通信」発行
- ・Webセミナー、意見交換会の開催
- ・他団体との交流



かるた大会（キンダガーデン）

Facebook QR



試験棟



展示室



大研修室（3F）



公益財団法人鳥取県建設技術センター